

# 川崎市洪水ハザードマップ 高津区版



## 「意識と準備が命を守る！」

洪水ハザードマップは、想定し得る最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合、洪水浸水想定区域や避難場所を示したものです。



### 我が家の防災メモ

ハザードマップを使って我が家の防災メモを完成させましょう！

#### ① 自宅の災害リスク

● 地図を確認して、該当するところに○印を記入しましょう

洪水(多量川床高)	浸水(浅)	0.5m未満	0.5~1.0m未満	1.0~2.0m未満	2.0m以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※重要点においては、観測川床系による浸水は想定されています。

#### ② 避難方法

● 「状況に応じた避難行動」を確認し、避難方法を確認しましょう  
(がけ崩れからの避難)  
 屋内待機  立ち退き避難  垂直避難  屋内待機  垂直避難  水平避難

#### ③ 避難場所と避難経路

● 避難方法が決まったら、避難場所と避難経路を確認しましょう  
(避難場所1) \_\_\_\_\_  
(避難場所2) \_\_\_\_\_ (避難場所3) \_\_\_\_\_  
※避難場所と避難経路はそれぞれ複数設定が必要に応じて地図に書き込みましょう

#### ④ 非常持出品

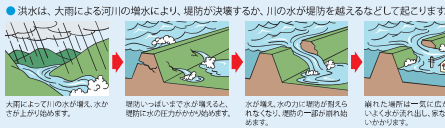
● 非常持出品の保管場所は、家族のみんなでも共有しましょう  
(保管場所) \_\_\_\_\_

#### ⑤ みんなの約束

● 家族やご近所での約束事を記入しましょう  
(家族の約束事) \_\_\_\_\_ (ご近所での約束事) \_\_\_\_\_  
※避難に連絡が必要ななど地域で協力しましょう

### 洪水から身を守る

#### ① 洪水発生メカニズム



#### ② 洪水浸水想定区域の考え方

● すべての破堤点(堤防が決壊すると想定したところ)について、どう氾濫し浸水するかを予想します。  
● すべての予想結果を重ね合わせ、最大の区域と深さを表示します。  
● 実際は、それらのうち離れた箇所が氾濫し、浸水区域が広がり、徐々に深くなります。

#### ③ 都市型水害について知る

● 大規模な洪水以外にも、都市は舗装された道路や宅地が多く、降った雨は地中に浸透しにくい、川や水路、水道と一緒に集まります。そのため、次のような危険がありますので注意しましょう。  
(管の破れ)  
● 地下の埋設の管(下水道)では雨水が溜り、車が立ち止まると浸水する危険があるため、通らないでください。  
● 地下への浸水すると、  
① 水圧でドアが開かない  
② 一瞬に水が流れ込む  
③ 外の様子が見えなくなる  
④ 外の様子が見えなくなる  
⑤ 命に関わる危険があるため、早めの避難が必要です。  
(中小河川の増水氾濫)  
● 都市の河川は、急な増し、流が速くなり、氾濫するおそれがあります。  
● 氾濫して転落したり、大木の上には近づかないでください。  
(過去の浸水)  
● 過去の浸水があった所は、大雨のとき、ふたたび浸水するおそれがあります。  
● 事前に確認し、避難する際はこのような浸水履歴があります。  
● 過去の浸水(浸水履歴)については、川崎市防災情報ポータルサイトから確認できます。

#### ④ 洪水からの避難

● 洪水の危険が迫った際には、川崎市を対象の地域に避難を呼びかけます。  
● お住まいの環境によって、適切な避難行動の違いがありますので、右ページの判断フローを参考に、ご自身の避難行動や避難先あらかじめ検討しておきましょう。

### ⑤ 雨の降り方と災害発生との関係

降雨の降り方	状況	災害発生リスク
10~20ミミ	○ザーザーと降る	○この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20~30ミミ	○どしどし降る	○激しい雨で、小さな川が溢れ、小規模の浸水が発生
30~40ミミ	○どしどし降る	○浸水がひどくなり、危険地帯で避難の準備が必要
50~60ミミ	○激しい雨が降り、土が滑りやすくなる	○土砂災害や浸水、土砂災害が発生するおそれがある
80ミミ以上	○激しい雨が降り、土が滑りやすくなる	○土砂災害や浸水、土砂災害が発生するおそれがある

### がけ崩れから身を守る

#### ① 土砂災害警戒区域

● 土砂災害防止法(平成13年施行)に基づき、土砂災害への注意が必要となる区域として、一般堤防を超える斜面及びこれに接する区域を、神奈川県知事が土砂災害警戒区域に指定しました。  
注: 上記に指定される区域は、急傾斜地崩壊危険区域、急傾斜地崩壊危険区域(土砂災害警戒区域)と併せて指定されています。  
【指定基準:急傾斜地崩壊危険区域(がけ崩れ)】  
① 傾斜度が30度以上で高さ15m以上の区域  
② 急傾斜地の上部から水平距離が10m以内の区域  
③ 急傾斜地の下部から急傾斜地の長さの2割以内の区域(50mを超える場合は50m)  
川崎市は対象となる区域が少なくないため、区域の指定は行っておりません。  
※土砂災害警戒区域の詳しい情報はこちらのパンフレットをご覧ください。  
※川崎市 土砂災害警戒区域(土砂災害警戒区域)パンフレット

#### ② 急傾斜地崩壊危険区域

● 急傾斜地崩壊危険区域とは、がけ崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地、及び崩れが崩壊、浸透するおそれがあるため、切土、盛土など一定の行為を制限する必要がある土地で、市長からの要請により神奈川県知事が指定した区域です。

#### ③ がけ崩れからの避難

● 土砂災害警戒区域の中に入るとは、避難に関する情報が寄せられたときには、ただちに安全を確保することが必要です。  
● このとき、天候やご自身の状況により、柔軟に行動を見えることができるよう、次の方法を参考に、適切な避難場所の確保などの準備をおこなうことが大切です。

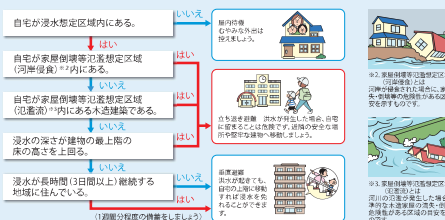
#### ① 避難に関する情報

<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> お住まいの地域の自治体の方から、避難の準備を要する方は避難の準備を要してください。	<b>避難勧告</b> 災害発生が予想される危険な地域の方は、地域の方に避難を勧められるものです。	<b>避難指示(緊急)</b> 災害発生が予想される危険な地域の方は、ただちに避難してください。
---	--	---

#### ② 水位に関する情報

水位	川崎市の対応
河川の堤防	避難指示(緊急)を発令します。
河川の水位	避難指示(緊急)を発令します。
河川の水位	避難指示(緊急)を発令します。
河川の水位	避難指示(緊急)を発令します。
河川の水位	避難指示(緊急)を発令します。

#### ③ 状況に応じた避難行動



- ④ 屋外に避難するときの注意点**
  - 動きやすい服装を心がけ、靴は硬めで締められる運動靴を履くようにする。
  - ※長靴は足を滑らせるため危険です。
  - 避難所に向かう途中で身の危険を感じた場合は、避難所に限らず近くの安全な場所や建物に一刻も早く避難する。
  - 非常持出品(飲料水、食料、貴重品など)は、リュックサックなどに入れ、両手を使えるようにする。
  - やむを得ず浸水している場所を移動する場合は、杖などを使用する。
  - ※浸水している場合は、濡れた靴、濡れたマンホールや水路、橋などへの落下の恐れがあります。足元の安全確保が必要です。
- ⑤ 助け合い(共助)**
  - 近くにお住まいの高齢者、障害者、妊婦、乳幼児、外国人、または旅行客など一人で避難することが難しい方がいます。目撃者やご近所でコミュニケーションをとり、避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難しましょう。

### 日頃の備え

#### ① 家庭備蓄の充実

● 災害時は、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、出来れば7日間、自宅でご過ごす用意をしましょう。  
● 飲料水は1人1日3リットル必要です。  
● ペットフードなどは、家族全員の分、用意しておきましょう。  
(食料) ・お米や乾粮、缶詰など、日持ちのするものを用意しておきましょう。  
● 普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期限が来る前に消費し、常に定額に保ちますことで、無難な備蓄ができます。(ローリングストック)  
(その他) ・カッターコロ(ボイラー忘れ)、騒音トイレ(汚物処理用)などを用意しておきましょう。

#### ② 非常持出品チェックリスト

品名	品名	品名	品名
飲料水	食料	救急箱	貴重品
現金	救急用品	非常用品	防災用品
現金	救急用品	非常用品	防災用品
現金	救急用品	非常用品	防災用品
現金	救急用品	非常用品	防災用品

#### ③ 施設内排水設備の定期的な点検

● 「雨水流出抑制施設」は大雨の時に雨水を一時的に貯留して下流へ少ずつ流す重要な施設です。落ち葉や土砂が詰まっていると水を排水できなくなるため、普段から点検をお願いします。  
● 排水溝や道路側溝も路面排水を適切に行うための役割を担っています。



### ハザードマップの使い方

- ① 自宅を見つけてみましょう**  
自宅に洪水が来ることや、がけ崩れが起こる可能性を確認しましょう。
- ② 避難する場所を確認しましょう**  
洪水や土砂災害からの避難方法を確認しましょう。立ち退き避難が必要な場合は、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。
- ③ 安全な避難経路を決めましょう**  
大雨の時に危険となる水路や橋、アンダーパス、浸水の危険性がある箇所や土砂災害警戒区域などの場所を確認し、避難経路を複数決めましょう。
- ④ 実際に避難経路を歩いてみましょう**  
家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を複数決めましょう。
- ⑤ 家族で災害時の対応を話し合いましょう**  
大雨の際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。
- ⑥ 学校やご近所で考えましょう**  
学校やご近所で、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に配慮が必要と思われる方についても、みんなで考えることを考え、避難の際に協力しましょう。
- ⑦ 我が家の防災メモを完成させましょう**

### 風水害時に役立つ情報

- ① 川崎市防災情報ポータルサイト(川崎市ホームページから)**
  - 市内の災害に関する緊急情報、被害情報、避難情報などを掲載します。
  - 日頃の備えや、川崎市の防災計画なども紹介しています。
  - 外出時の防災対策についてまとめた携帯版の「備え、かわさき」ポータル版を紹介しています。
  - 過去10年間の浸水履歴を公開しています。
- ② かわさき防災アプリ**
  - 川崎市の公式アプリのサービス「かわさき防災アプリ」では、災害時の緊急情報や避難情報などをリアルタイムで受け取れるほか、最寄りの避難所や各種ハザードマップを見ることが出来ます。
- ③ メールニュースかわさき**
  - 川崎市から、市内の防災、気象、災害等の情報をメールでお知らせします。(パソコンから)
  - 配信を希望する方は右記のメールアドレス(携帯電話・スマートフォンURL)宛にEメールを送信してください。
- ④ 防災行政無線・防災テレホンサービス**
  - 防災行政無線とは、屋外にあるスピーカから、市民の皆様に避難情報や防災気象情報をお知らせするものです。
  - 防災行政無線の放送内容は、電話でも聞けることができます(通常時は啓発放送が流れます)。0120-910-174(通話料あり)携帯電話、公共電話、固定電話及び一部IP電話から044-245-8870(通話料あり)携帯電話、PHS、県外の一般加入電話・公共電話から
- ⑤ 国土交通省 京浜河川事務所 河川の防災ページ**
  - 多摩川・鶴見川の浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、氾濫シミュレーションを見ることが出来ます。
- ⑥ 川の様子に関するリアルタイム情報**
  - カラド画像や水位、雨量等の情報を、国土交通省・神奈川県・川崎市等のHPで見ることが出来ます。
- ⑦ その他**
  - 気象庁ホームページで警報・注意報発表の予測を見ることが出来ます。
  - ツーッダー(アカウント: kawasaki\_bousai)、緊急連絡メール、地上デジタル放送、ケーブルテレビ、かわさきFM(79.1MHz)でも、情報を発信します。
- ⑧ お問い合わせ先**

避難に関すること	総合企画課防災管理室	044-200-5682	警報等	110
浸水(多量川床高)に関すること	高度安全対策課	044-200-1346	緊急連絡メール	044-200-2002
土砂災害警戒区域に関すること	国土交通省 河川局 河川課	044-200-3035	消防車	119
- ⑨ 緊急連絡先**

# 洪水ハザードマップ(高津区版)の変更について

洪水ハザードマップについて、平成30年3月の作成以降、法令の改正などにより記載内容に変更が生じております。ご覧の際は、最新の情報をご確認ください。

## ①避難情報の変更

災害対策基本法の改正により、令和3年5月20日から避難情報が変わりました。これに伴い、洪水ハザードマップ(情報面)の一部を変更しました。



(情報面)

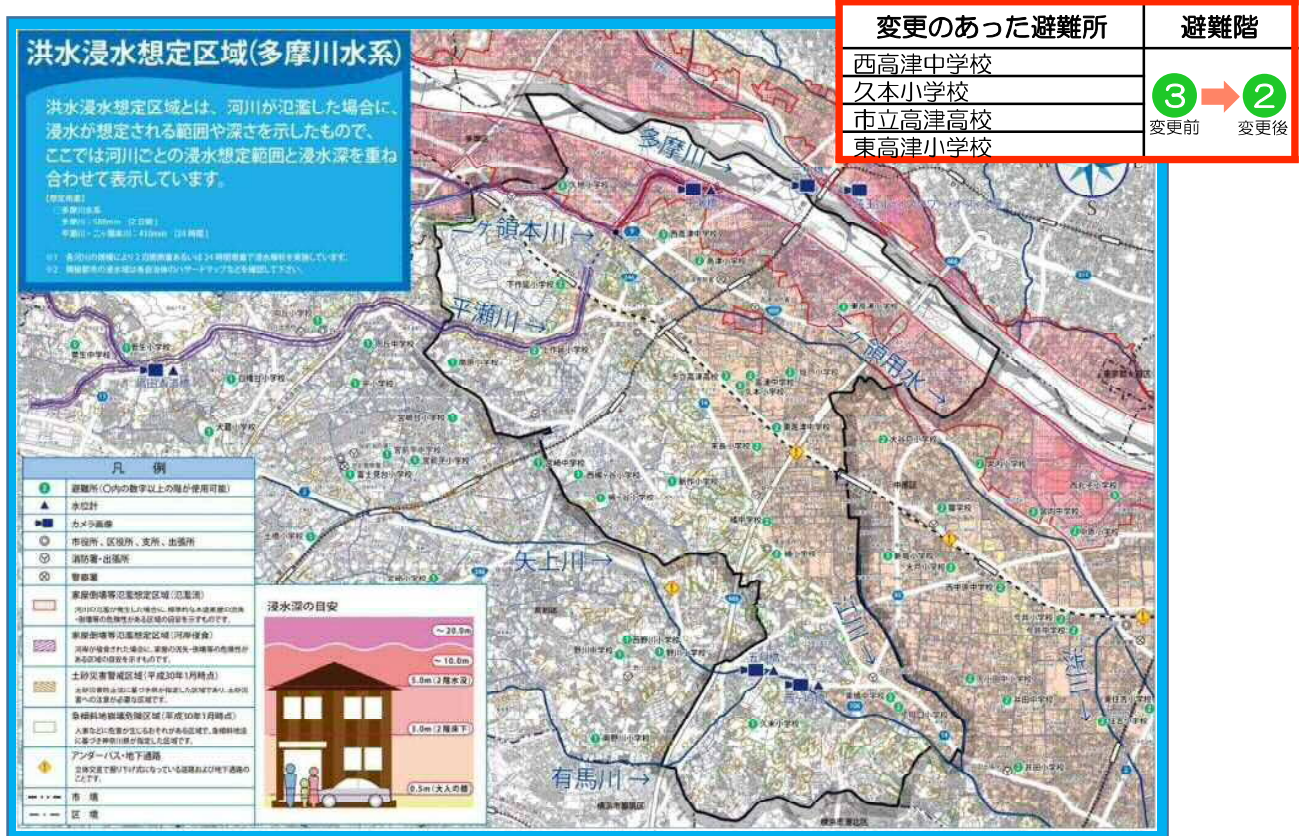
## 避難情報と防災関係情報

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災関係情報		
			水位	洪水	降雨
5	既に災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動を取りましょう。	緊急安全確保 (川崎市が発令)	氾濫の発生 または切迫	氾濫発生情報	大雨 特別警報
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~					
4	危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示 (川崎市が発令)	氾濫危険水位	氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	避難に時間を要する人(ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難しましょう。その他の人は避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (川崎市が発令)	避難判断水位	洪水警報 氾濫警戒情報	大雨警報
2	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報等 (気象庁が発表)	氾濫注意水位		
1	災害の心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発表)	水防団待機水位		



## ②避難所の変更

指定緊急避難場所(洪水)の指定基準の見直しにより、令和3年6月8日から一部の避難所の避難階を変更しました。



(地図面)

## ③土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域の変更

土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」・「土砂災害特別警戒区域」及び急傾斜地法に基づく「急傾斜地崩壊危険区域」を神奈川県が指定(変更)しています。最新の区域については、県ホームページをご確認ください。



神奈川県土砂災害  
情報ポータル

URL : <https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

## ④水位計・カメラの追加

最新の水位計・カメラの設置箇所については、市ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000107830.html>



川崎市ホームページ  
水位計・カメラ

## ○お問い合わせ先

洪水ハザードマップ全般に関すること	建設緑政局道路河川整備部河川課	044-200-2902
避難に関すること	総務企画局危機管理室初動対策担当	044-200-3682
避難所の変更に関すること	総務企画局危機管理室危機管理計画担当	044-200-0337
土砂災害(特別)警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域に関すること	神奈川県横浜川崎治水事務所 川崎治水センター	044-932-7211

(令和3年6月)